

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成30年3月8日(2018.3.8)

【公表番号】特表2016-507032(P2016-507032A)

【公表日】平成28年3月7日(2016.3.7)

【年通号数】公開・登録公報2016-014

【出願番号】特願2015-557132(P2015-557132)

【国際特許分類】

F 02 B 41/10 (2006.01)

F 02 B 39/08 (2006.01)

F 02 B 39/12 (2006.01)

【F I】

F 02 B 41/10

F 02 B 39/08

F 02 B 39/12

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年1月23日(2018.1.23)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

内燃機関との使用のためのターボチャージャであって、前記ターボチャージャは、
差動デバイスであって、前記差動デバイスは、

無段変速トランスミッションと駆動係合しているキャリア部分であって、前記無段変速トランスミッションは、前記内燃機関と駆動係合している、キャリア部分と、

第1の複数の磁石を有する第1のサイドギヤと、

第2の複数の磁石を有する第2のサイドギヤと

を有する、差動デバイスと、

前記差動デバイスの前記第1のサイドギヤと駆動係合しているコンプレッサ部分であって、複数の磁石を有するコンプレッサ部分と、

前記差動デバイスの前記第2のサイドギヤと駆動係合しているタービン部分であって、複数の磁石を有するタービン部分と

を備え、

前記コンプレッサ部分は、前記第1のサイドギヤと磁気駆動係合し、前記タービン部分は、前記第2のサイドギヤと磁気駆動係合している、ターボチャージャ。

【請求項2】

前記コンプレッサ部分と前記第1のサイドギヤとは、第1の磁気駆動比率調節デバイスを形成し、前記タービン部分と前記第2のサイドギヤとは、第2の磁気駆動比率調節デバイスを形成する、請求項1に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

【請求項3】

内燃機関との使用のためのターボチャージャであって、前記ターボチャージャは、差動デバイスであって、前記差動デバイスは、

無段変速トランスミッションと駆動係合しているキャリア部分であって、前記無段変速トランスミッションは、前記内燃機関と駆動係合している、キャリア部分と、

第1の複数の磁石を有する第1のサイドギヤと、

第 2 の複数の磁石を有する第 2 のサイドギヤと
を有する、差動デバイスと、
前記差動デバイスの前記第 1 のサイドギヤと駆動係合しているコンプレッサ部分と、
前記差動デバイスの前記第 2 のサイドギヤと駆動係合しているタービン部分と、
複数の磁石を含む複数のスパイダギヤと
を備え、前記複数のスパイダギヤは、前記第 1 のサイドギヤおよび前記第 2 のサイドギヤと磁気駆動係合している、ターボチャージャ。

【請求項 4】

少なくとも 1 つの中間鉄部材をさらに備え、前記中間鉄部材は、前記複数のスパイダギヤと前記第 1 のサイドギヤおよび前記第 2 のサイドギヤのうちの一方との間に配置されている、請求項 3 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

【請求項 5】

比率調節デバイスをさらに備え、前記比率調節デバイスは、前記差動デバイスおよび前記無段变速トランスミッションと駆動係合している、請求項 1 または 3 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

【請求項 6】

複数のスパイダギヤをさらに備え、前記複数のスパイダギヤは、前記差動デバイスの前記第 1 のサイドギヤおよび前記第 2 のサイドギヤと駆動係合している、請求項 1 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

【請求項 7】

差動筐体をさらに備え、前記差動デバイスの前記第 1 のサイドギヤおよび前記第 2 のサイドギヤは、前記差動筐体内に配置され、前記差動筐体は、前記無段变速トランスミッションと駆動係合している、請求項 1 または 3 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

【請求項 8】

出力シャフトをさらに備え、前記出力シャフトは、前記差動デバイスおよび前記無段变速トランスミッションと駆動係合している、請求項 1 または 3 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

【請求項 9】

前記出力シャフトは、前記コンプレッサ部分および前記タービン部分の一方を通過する、請求項 8 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

【請求項 10】

内燃機関との使用のためのターボチャージャであって、前記ターボチャージャは、
キャリア部分を有する差動デバイスと、

前記差動デバイスの第 1 の部分と駆動係合しているコンプレッサ部分と、

前記差動デバイスの第 2 の部分と駆動係合しているタービン部分と、

比率調節デバイスと

を備え、

前記差動デバイスの前記キャリア部分は、無段变速トランスミッションと駆動係合し、
前記無段变速トランスミッションは、前記内燃機関と駆動係合し、前記比率調節デバイス
は、前記コンプレッサ部分および前記差動デバイスの前記第 1 の部分、および前記タービ
ン部分および前記差動デバイスの前記第 2 の部分のうちの少なくとも 1 つと駆動係合して
いる、ターボチャージャ。

【請求項 11】

内燃機関との使用のためのターボチャージャであって、前記ターボチャージャは、
キャリア部分を有する差動デバイスと、

前記差動デバイスの第 1 の部分と駆動係合しているコンプレッサ部分と、

前記差動デバイスの第 2 の部分と駆動係合しているタービン部分と、

前記差動デバイスの前記キャリア部分および第 1 の比率調節デバイスと駆動係合して
いる出力シャフトと、

第 2 の比率調節デバイスと
を備え、

前記第 1 の比率調節デバイスは、無段变速トランスマッションとさらに係合し、前記無段变速トランスマッションは、前記内燃機関と駆動係合しており、前記第 2 の比率調節デバイスは、前記コンプレッサ部分および前記差動デバイスの前記第 1 の部分、および前記タービン部分および前記差動デバイスの前記第 2 の部分のうちの少なくとも 1 つと駆動係合している、ターボチャージャ。

【請求項 1 2】

前記差動デバイスの前記第 1 の部分は、複数の磁石を備え、前記差動デバイスの前記第 2 の部分は、複数の磁石を備えている、請求項 1 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

【請求項 1 3】

複数のボールをさらに備え、前記差動デバイスの前記第 1 の部分は、第 1 の駆動リングであり、前記差動デバイスの前記第 2 の部分は、第 2 の駆動リングであり、前記複数のボールは、前記差動デバイスの前記第 1 の駆動リングおよび前記第 2 の駆動リングと駆動係合している、請求項 1 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0015

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0015】

本発明の種々の側面は、付随の図面に照らして熟読されることによって、好ましい実施形態の以下の発明を実施するための形態から当業者に明白となるであろう。

本発明は、例えば、以下を提供する。

(項目 1)

内燃機関との使用のためのターボチャージャであって、前記ターボチャージャは、
キャリア部分を有する差動デバイスと、
前記差動デバイスの第 1 の部分と駆動係合しているコンプレッサ部分と、
前記差動デバイスの第 2 の部分と駆動係合しているタービン部分と
を備え、

前記差動デバイスの前記キャリア部分は、無段变速トランスマッションと駆動係合し、前記無段变速トランスマッションは、前記内燃機関と駆動係合している、ターボチャージャ。

(項目 2)

前記差動デバイスの第 1 の部分は、第 1 のサイドギヤであり、前記差動デバイスの第 2
の部分は、第 2 のサイドギヤである、項目 1 に記載の内燃機関との使用のためのターボチ
ヤージャ。

(項目 3)

前記第 1 のサイドギヤは、複数の磁石を備え、前記第 2 の駆動ギヤは、複数の磁石を備
えている、項目 2 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目 4)

前記コンプレッサ部分は、複数の磁石を備え、タービン部分は、複数の磁石を備え、前
記コンプレッサ部分は、前記第 1 のサイドギヤと磁気駆動係合し、前記タービン部分は、
前記第 2 のサイドギヤと磁気駆動係合している、項目 3 に記載の内燃機関との使用のため
のターボチャージャ。

(項目 5)

前記コンプレッサ部分と前記第 1 のサイドギヤとは、デバイスを調節する第 1 の磁気駆
動比率を形成し、前記タービン部分と前記第 2 のサイドギヤとは、デバイスを調節する第
2 の磁気駆動比率を形成する、項目 4 に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージ

ヤ。

(項目6)

複数の磁石を含む複数のスパイダギヤをさらに備え、前記複数のスパイダギヤは、前記第1のサイドギヤおよび前記第2のサイドギヤと磁気駆動係合している、項目3に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目7)

少なくとも1つの中間鉄部材をさらに備え、前記中間鉄部材は、前記複数のスパイダギヤと前記第1のサイドギヤおよび前記第2のサイドギヤのうちの一方との間に配置されている、項目6に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目8)

前記差動デバイスの前記第1の部分は、第1の駆動リングであり、前記差動デバイスの前記第2の部分は、第2の駆動リングである、項目1に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目9)

複数のボールをさらに備え、前記複数のボールは、前記差動デバイスの前記第1の駆動リングおよび前記第2の駆動リングと駆動係合している、項目8に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目10)

比率調節デバイスをさらに備え、前記比率調節デバイスは、前記差動デバイスおよび前記無段变速トランスミッションと駆動係合している、項目1に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目11)

複数のスパイダギヤをさらに備え、前記複数のスパイダギヤは、前記差動デバイスの前記第1の部分および第2の部分と駆動係合している、項目1に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目12)

差動筐体をさらに備え、前記差動デバイスの前記第1の部分および第2の部分は、前記差動筐体内に配置され、前記差動筐体は、前記無段变速トランスミッションと駆動係合している、項目1に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目13)

出力シャフトをさらに備え、前記出力シャフトは、前記差動デバイスおよび前記無段变速トランスミッションと駆動係合している、項目1に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目14)

前記出力シャフトは、前記コンプレッサ部分および前記タービン部分の一方を通過する、項目13に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目15)

比率調節デバイスをさらに備え、前記比率調節デバイスは、前記コンプレッサ部分および前記差動デバイスの前記第1の部分、および前記タービン部分および前記差動デバイスの前記第2の部分のうちの少なくとも1つと駆動係合している、項目1に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目16)

内燃機関との使用のためのターボチャージャであって、前記ターボチャージャは、キャリア部分を有する差動デバイスと、前記差動デバイスの第1の部分と駆動係合しているコンプレッサ部分と、前記差動デバイスの第2の部分と駆動係合しているタービン部分と、前記差動デバイスのキャリア部分および比率調節デバイスと駆動係合している出力シャフトとを備え、前記比率調節デバイスは、無段变速トランスミッションとさらに係合し、前記無段变速

トランスミッションは、前記内燃機関と駆動係合している、ターボチャージャ。

(項目17)

第2の比率調節デバイスをさらに備え、前記第2の比率調節デバイスは、前記コンプレッサ部分および前記差動デバイスの前記第1の部分、および前記タービン部分および前記差動デバイスの前記第2の部分のうちの少なくとも1つと駆動係合している、項目16に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目18)

前記差動デバイスの前記第1の部分は、複数の磁石を備え、前記差動デバイスの前記第2の部分は、複数の磁石を備えている、項目16に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目19)

複数のボールをさらに備え、前記差動デバイスの前記第1の部分は、第1の駆動リングであり、前記差動デバイスの前記第2の部分は、第2の駆動リングであり、前記複数のボールは、前記差動デバイスの前記第1の駆動リングおよび前記第2の駆動リングと駆動係合している、項目16に記載の内燃機関との使用のためのターボチャージャ。

(項目20)

内燃機関との使用のためのターボチャージャであって、前記ターボチャージャは、キャリア部分を有する差動デバイスと、

前記差動デバイスの第1の部分と駆動係合しているコンプレッサ部分と、

前記差動デバイスの第2の部分と駆動係合しているタービン部分と、

前記コンプレッサ部分および前記差動デバイスの第1の部分、および前記タービン部分および前記差動デバイスの第2の部分のうちの少なくとも1つと駆動係合している第1の比率調節デバイスと、

前記差動デバイスの前記キャリア部分および第2の比率調節デバイスと駆動係合している出力シャフトとを備え、

前記第2の比率調節デバイスは、無段変速トランスミッションとさらに係合し、前記無段変速トランスミッションは、前記内燃機関と駆動係合している、ターボチャージャ。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0034

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0034】

第1の中間フェライト部材455は、第1のサイドギヤ452と複数のスパイダギヤ458との間に配置される部材である。第1の中間フェライト部材455は、鉄材料から形成され、第1のサイドギヤ452と複数のスパイダギヤ458との間の磁場の伝達を促進する。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0035

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0035】

第2の中間フェライト部材456は、第2のサイドギヤ454と複数のスパイダギヤ458との間に配置される部材である。第2の中間フェライト部材456は、鉄材料から形成され、第2のサイドギヤ454と複数のスパイダギヤ458との間の磁場の伝達を促進

する。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0056

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0056】

差動デバイス780は、第1のサイドギヤ787と、第2のサイドギヤ788と、差動キャリア789と、複数のスパイダギヤ790と、一対の中間_{鉄部材}791と、差動筐体792とを備えている。第1のサイドギヤ787、第2のサイドギヤ788、差動キャリア789、および複数のスパイダギヤ790は、タービン部分782とコンプレッサ部分784との間に回転可能に配置される差動筐体792内に配置される。中間_{鉄部材}791の各々は、筐体716に対して固定され、各々は、第1のサイドギヤ787とコンプレッサ部分784との間、および第2のサイドギヤ788とタービン部分782との間にそれぞれ配置される。第1のサイドギヤ787および第2のサイドギヤ788は、それぞれ、コンプレッサ部分784およびタービン部分782に隣接して配置され、それらと磁気駆動係合する、ペベルギヤである。第1のサイドギヤ787は、第3の磁気アレイ793を含み、コンプレッサ部分784との駆動係合を促進する。図7に示されるように、第3の磁気アレイ793は、円筒形形状であり、コンプレッサ部分784の第2の磁気アレイ786の周りに配置される。第2のサイドギヤ788は、タービン部分782との駆動係合を促進する第4の磁気アレイ794を含む。図7に示されるように、第4の磁気アレイ794は、円筒形形状であり、タービン部分782の第1の磁気アレイ785の周りに配置される。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0057

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0057】

第3の磁気アレイ793と、中間_{鉄部材}791のうちの1つと、第2の磁気アレイ786とは、コンプレッサ部分784と第1のサイドギヤ787との間の駆動比率を調節するために使用される、磁気駆動比率調節デバイスを形成する。磁気駆動比率調節デバイスは、コンプレッサ部分784と第1のサイドギヤ787との間の減速を生じさせるために使用される。他の磁気配列が、コンプレッサ部分784と第1のサイドギヤ787との間の減速を生じさせるために使用され得ることを理解されたい。

【誤訳訂正 7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0058

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0058】

第4の磁気アレイ794と、中間_{鉄部材}791のうちの1つと、第1の磁気アレイ785とは、タービン部分782と第2のサイドギヤ788との間の駆動比率を調節するために使用される、磁気駆動比率調節デバイスを形成する。磁気駆動比率調節デバイスは、タービン部分782と第2のサイドギヤ788との間の減速を生じさせるために使用される。他の磁気配列が、タービン部分782と第2のサイドギヤ788との間の減速を生じさせるために使用され得ることを理解されたい。さらに、磁気駆動比率調節デバイスの原理は、本明細書に前述の本発明の実施形態のいずれに適用され得ることを理解されたい。